

平成28年秋の収穫

教頭便り No 8

平成29年1月6日（金）

茨城県立鬼怒商業高等学校 教頭 宇都木 直之

皆さん明けましておめでとうございます。平成28年もついこの間までは「毎日暑いなあ」と思いながら過ごしていましたが、あっという間に冬休みとなってしまいました。昨年も本校生は様々な分野で頑張りを見せてくれましたが、11月3日（木）の文化祭「**鬼朋祭**」（一般公開）では957人も地域の方々に御来校いただきました。本当にありがとうございました。



また、10月29日（土）には結城市の「**まつりゆうき**」と筑西市の「**下館商工まつり**」にも本校生徒が出店しました。右の新聞記事（茨城新聞 H28.10/30[日]）は、経営コンサルタント事務所「つくば経営戦略研究所」が高校生に将来の企業を促すのが狙いの「ビジネスチャレンジ」と銘打った企画の指導を受けて活動中の、本校「情報ビジネス科」の生徒たちの様子です。事業計画から商品・価格設定、広報、売り上げ目標までの全てを自分たちで行い、会社経営を実体験することができました。



右の新聞記事（茨城新聞 10/23[日]）は、商業系高校の生徒たちの英語力向上を目的とした「**全国商業高校英語スピーチコンテスト**」の県予選会で、スピーチの部では本校のコミヤマサイチ(3-4)が、レシテーションの部ではコミヤモリ(2-4)の兄弟(結城東中)が最優秀賞を獲得し、平成29年1月8日（日）に東京で行われる全国大会に本県代表として出場することが決定した時のものです。彼ら2人は昨年2学期の終業式の時に行った壮行会で、全校生徒の前で自分たちのスピーチを披露しました。平成28年度も押し詰まりつつありますが、本校生の活躍はまだまだ留まる所を知りません。私も負けないように頑張りたいと思っています。

